

# 小学校 総合的な学習の時間

徳島県教育委員会

総合的な学習の時間の全体計画の様式（例）

中学校

生徒の実態

総合的な学習の時間 第1の目標

保護者の願い

地域の実態

〇〇中学校 教育目標

地域の願い

総合的な学習の時間の目標

内容

| 学年   | 目標を実現するにふさわしい探究課題 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|------|-------------------|--------|--------------|--------------|
| 第1学年 | 〇〇〇               |        |              |              |
| 第2学年 | △△△               |        |              |              |
| 第3学年 | □□□               |        |              |              |

学習活動  
「内容」との関わりにおいて実際に生徒が行う学習活動

指導方法  
学習活動を適切に実施する際に必要な指導方法

指導体制  
全体計画を適切に推進するための体制

学習の評価  
評価の考え方や評価方法、指導計画・学習指導の評価に関する方針、評価活動を充実させる手立て等

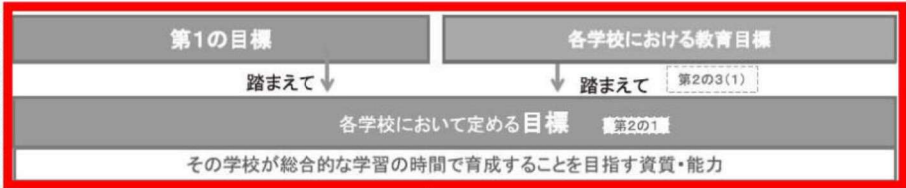
各教科等との関連

地域との連携

近隣の小学校・中学校・高等学校等との連携

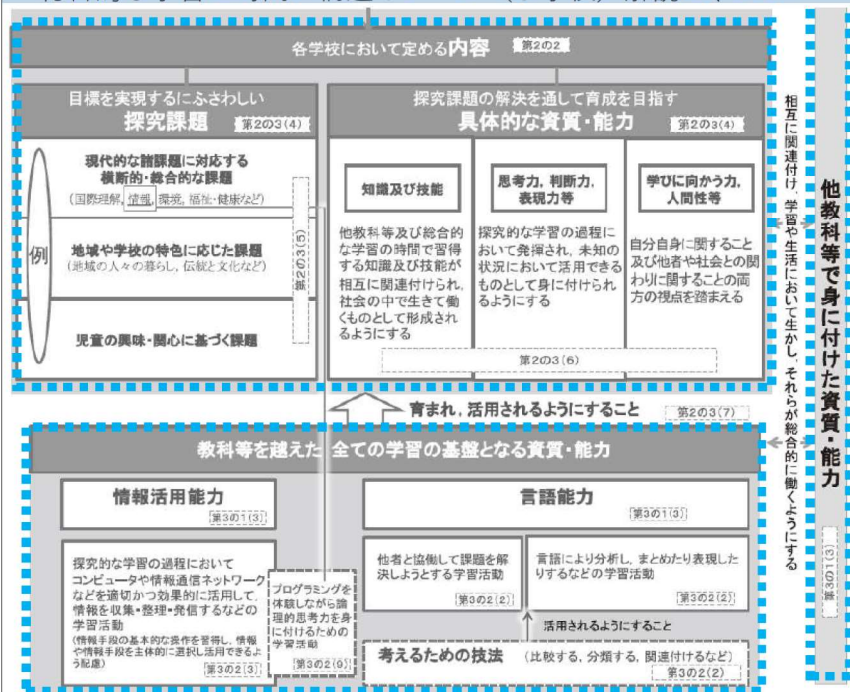
## 全体計画の作成について

総合的な学習の時間の構造イメージ（小学校）解説P6、P18



### 目標の改善

- ① 「探究的な見方・考え方」を働かせ、総合的・横断的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すものであることを明確化
- ② 教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるよう、各学校における教育目標を踏まえて設定



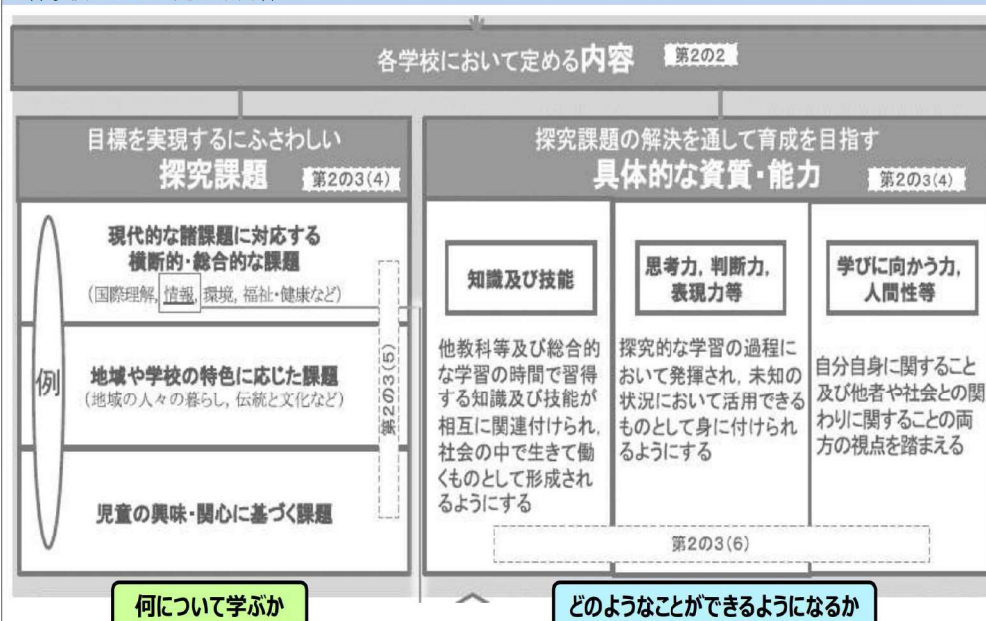
「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 内容の改善

- ① 「目標を実現するにふさわしい探究課題」「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を設定
- ② 他教科等で育成する資質・能力を相互に関連付け、実社会・実生活の中で総合的に活用
- ③ 教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力を育成
- ④ 体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れること等は引き続き重視

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

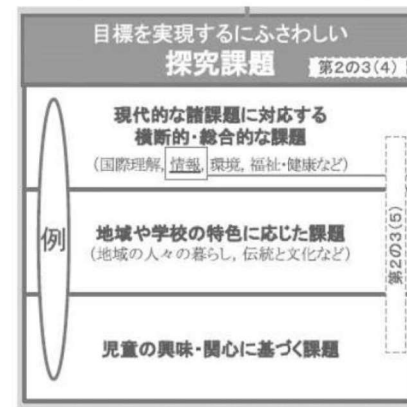
## 各学校において定める内容



「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 各学校において定める内容（探究課題）解説p.77

### 何について学ぶか



探究課題が兼ね備える要件

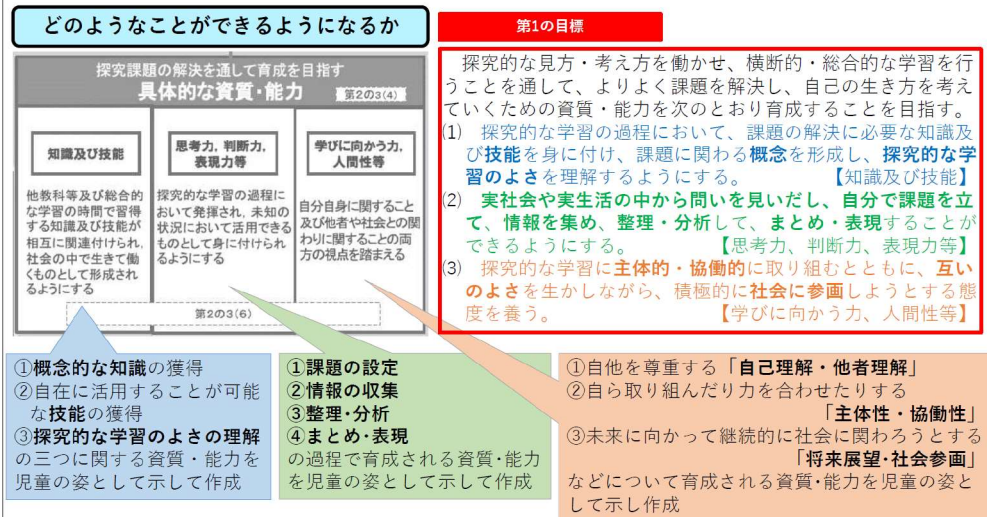
- ① 探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ② その課題をめぐって展開される学習が、横断的・総合的な学習としての性格をもつこと
- ③ その課題を学ぶことにより、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくことに結び付いていくような資質・能力の育成が見込めること

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

| 三つの課題                   | 探究課題の例                              |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 横断的・総合的な課題<br>(現代的な諸課題) | 地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観(国際理解) |
|                         | 情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化(情報)          |
|                         | 身近な自然環境とそこに起きている環境問題(環境)            |
|                         | 身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々(福祉)       |
|                         | 毎日の健康な生活とストレスのある社会(健康)              |
|                         | 自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題(資源エネルギー)      |
|                         | 安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々(安全)        |
| 地域や学校の特色に応じた課題          | 食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者(食)          |
|                         | 科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化(科学技術)           |
|                         | など                                  |
|                         | 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり)    |
| 児童の興味・関心に基づく課題          | 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々(伝統文化)          |
|                         | 商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会(地域経済)         |
|                         | 防災のための安全な町づくりとその取組(防災)              |
|                         | など                                  |
| 児童の興味・関心に基づく課題          | 実社会で働く人々の姿と自己の将来(キャリア)              |
|                         | ものづくりの面白さや工夫と生活の発展(ものづくり)           |
|                         | 生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ(生命)           |
| 児童の興味・関心に基づく課題          | など                                  |

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会(小中・総合)」

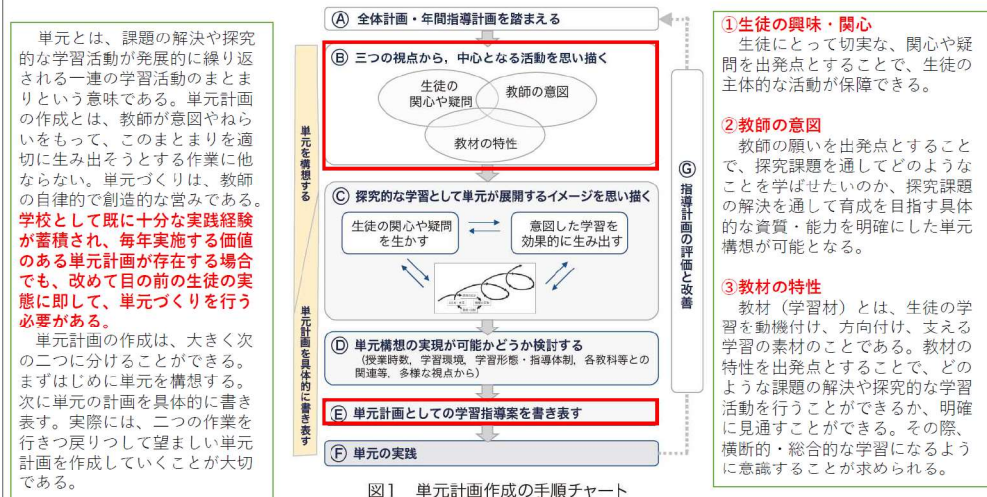
各学校で定める内容(探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力)



「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会(小中・総合)」

## 単元づくり

単元を構想する(今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)p.97~)



「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会(小中・総合)」

## <単元名>

「未来の人も豊かな暮らしをするために  
～エネルギー問題について考え、自然環境と共生を目指す～」(第2学年50時間扱い)

<単元の概要> 現在の豊かな暮らしの背景にあるエネルギーの問題に向き合い、未来の世代にも豊かな暮らしを残すための取組として、自宅でできる節電や地域が一斉に消灯する活動などを実施し、エネルギーの問題に対する自己の考えを形成していく。

<探究課題> エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組(資源エネルギー)

## 生徒の興味・関心

昨年度の取組や社会科見学において、化石エネルギーや再生可能エネルギーを利用した発電の意義について考えたこと、興味を抱いたこと、疑問をもったこと、やってみたいことなど、生徒に芽生えた関心や疑問を生かす。

昨年度は、自然環境の調査と保全について取り組んだ。今年も、実態を調査し、その改善に向けた取組をしていきたい。



生徒のこれまでの学習や、興味・関心の実態を把握する  
前単元までに高まっている生徒の興味・関心を、活動の様子を観察、感想などの振り返りから把握する。

この地域でも、太陽光パネルを設置しているところが増えているけど、自然環境への影響はないのかな?



社会科見学で、エネルギー問題の解決に取り組む仕事があることが分かった。どんな思いで仕事に取り組んでいるのか知りたい!



自発性

能動性



教師(総合担当)

生徒は、自然環境とエネルギー問題の共生についての興味・関心を高めているようだ。身近に感じ、自分事として考えられることを大切にしたい単元を考えよう。

## 教師の意図

次に、どのような力を育てたいのか、全体計画や年間指導計画を基に考え、中心となる学習活動を具体的に思い描いた。



教師(総合担当)

生徒の興味・関心を生かすためにも、地域課題とも関連付けて、探究できるように単元を考えましょう。

どんな資質・能力を育てたいのか?  
全体計画や年間指導計画を踏まえて、探究課題の解決を通して、どのような資質・能力を育てたいのか、具体的に考える。

授業のイメージを学年で共有する  
大まかな指導のイメージを学年会等で話し合い、共有しておくことで、協働的な単元計画の作成につなげる。

資質・能力

指導性

そうですね。このままだと、社会科見学で見聞したことだけで終わってしまうから、自分事として資源エネルギーを考えられるようになってほしいですね。



担任A

興味や疑問がたくさん湧いているのだから、対象は地域だけに限定しない方がいいと思います。広い視野で考えられるように、世界の取組も踏まえて考えていけると、「そうだったのか!」って納得しそうです。



担任B

全体計画では「エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組」を探究課題にしているから、学年全体で実践したり、地域にも協力的にもらったりすると、継続的な取組になりそうです。



担任C

## 教材の特性

次に、「節電」という教材の価値について分析した。エネルギー問題と向き合い、関わり続けようとする単元を構想することによって、学び得る内容や、豊かな体験が可能であるかなど、教材の特性を明らかにした。



担任A

この地域には、太陽光パネルが多く設置されています。自然環境の保全の観点からの工夫や課題から、電気エネルギーを生み出すための発電の必要性や持続性に迫れるのではないかと思います。



担任B

そうですね。いろいろな発電方法がある中で、太陽光発電のメリットやデメリットを考えることができそうですね。



担任C

太陽光発電の設置業者や、エネルギーの自給自足に取り組む人へインタビューをする活動もできるかもしれません。



担任A

自分たちでできる節電方法に取り組んだり、節電に対する意識を地域に広げ、多くの人に節電を呼びかけることもできそうです。



担任B

活動に対する地域アンケートを行い、その集計結果から活動のメリットやデメリットから有効性や今後の取組を考えることができそうです。



教師(総合担当)

そうですね。全体計画を見たり、「節電」が教材としてふさわしいか、ウェビングなどで確認してみましょう。

教材と出合う姿を思い描く  
生徒が、専門家や地域の人々との関わりを深め合う姿を思い描くことで、単元の中心的な活動を明確にする。

教材がふさわしいかをウェビングで確かめる  
中心の教材を「節電」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象が考えられるか、どのような活動が考えられるかを予測する。

多様性



小単元2  
自分たちも節電に取り組もう

【課題の設定】

太陽光発電だけでよいのだろうか。

- ① 小単元1で分かったことを基にして、新たな課題を設定する。
- ② 自分との関わりが深まる課題を設定する。

【情報の収集】

- ① 太陽光発電施設の見学、太陽光発電パネル設置業者へのインタビューをする。
- ② エネルギーの自給自足に取り組む人へインタビューする。
- ③ 保護者、地域の人々の節電に対する意識調査をする。

実践・提案

調査

疑問

【まとめ・表現】

- ① エネルギーと自然の共生をテーマにしてレポートを書く。
- ② 自宅で節電に取り組む。

【整理・分析】

インタビューや意識調査の内容を整理する。

- ① 節電方法について整理する。
- ② 効果的な節電方法について考える。

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

探究課題 エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組

小単元1（15）  
エネルギー問題について考えよう

小単元2（20）  
自分たちも節電に取り組もう

小単元3（15）  
持続可能な取組にしよう

エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか。

自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう

地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう

様々な発電方法について調べる  
太陽光発電施設を見学する  
設置業者にインタビューする

効果的な節電方法について調べる  
エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする  
自宅で節電に取り組む

地域の人々の節電に対する意識調査をする  
地域アンケート

太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する

効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する

地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する

エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートを書く

自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する

持続可能な取組とする提案をする  
主張文、手紙を書く  
社会における発電と電力消費についてのパネルディスカッション

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

① 全体計画・年間指導計画を踏まえる

② 三つの視点から、中心となる活動を思い描く



③ 探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く



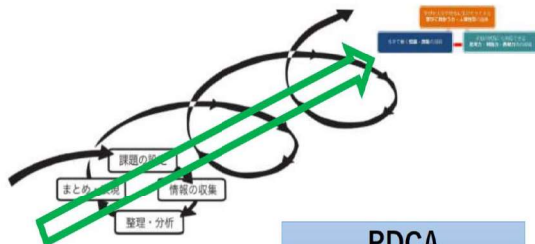
④ 単元構想の実現が可能かどうか検討する  
(授業時数、学習環境、学習形態・指導体制、各教科等との関連等、多様な視点から)

⑤ 単元計画としての学習指導案を書き表す

⑥ 単元の実践

単元目標

様々な発電方法を調査したり電力消費量を減らすための活動に取り組んだりすることを通して、自分たちの暮らしは環境に負荷を与えたり、限りある資源の消費の上で成り立っていることを理解するとともに、電力消費量を抑えるための実現可能な方法を探し求め、未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。



G指導計画の評価と改善

単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立てる。

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

学習評価について



「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 観点別学習状況の評価の進め方（評価資料P58）

### 評価規準「知識・技能①」

働くことの意味について、**収入**を得るため以外にも、**自分自身**や**他人のため**になっていること、**地域社会のため**になっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。

### 【評価場面・方法】

活動から得られた情報を整理・分析する場面で、ウェビングマップとワークシートに記述したものを「知識・技能①」の評価資料とした。

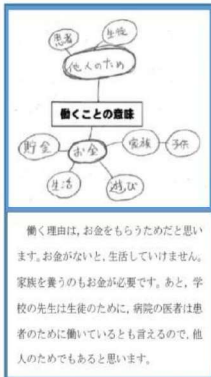


図1：単元導入時の生徒Aのウェビングマップと記述

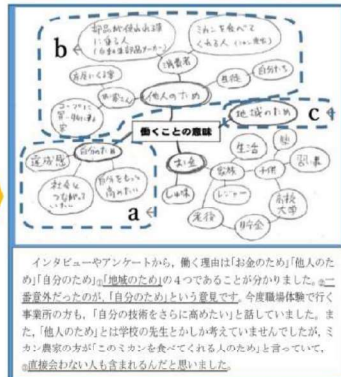


図2：整理・分析時の生徒Aのウェビングマップと記述

- 図2-a：「自分のため」を追加
  - 下線②：新たな視点を自覚している
  - 図2-b：間接的に人と関わる仕事
  - 下線③：間接的に人と関わる仕事
- 働くことの意味について収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていることを概念的に理解している。
- 下線①：「地域のため」
  - 図2-c：「地域のため」
- 具体的な情報がいないため概念化に至っていない。
- （教師）他者のために働くことで地域社会が活気付いた事例はなかったのかな？
- （生徒A）各事業所が協力して地域のために定期的に開催しているイベントの存在に気付く。

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 評価規準の指導計画への位置付け（「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料）

| 目標を実現するために<br>めざす探究課題    | 単元の評価規準                                                                                        |                                                                   |                                                          | 知 | 意 | 態 | 評価方法                             |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---|---|---|----------------------------------|
|                          | 知識・技能                                                                                          | 思考・判断・表現                                                          | 主体的に学習に取り組む態度                                            |   |   |   |                                  |
| 働くことの意味や働く人の夢や願い         | ① 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。 | ① 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々の考えの類似性から、自分たちの価値観を設定し、見直しをもっている。 | ① 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返り進めながら次の活動に生かそうとしている。 | ① | ① | ① | ・ワークシート                          |
|                          | ② 他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類                                                                 | ② 仕事に意図的に関心をもち、今後の学習や生活の仕方方を積極的に考えようとしている                         | ② 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返り進めながら次の活動に生かそうとしている。 | ② | ② | ② | ・ウェビングマップ<br>・ワークシート<br>・振り返りシート |
| 2 実際の働き、自己の生き方を考えよう。(30) | ③ 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。 | ③ 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々の考えの類似性から、自分たちの価値観を設定し、見直しをもっている。 | ③ 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返り進めながら次の活動に生かそうとしている。 | ③ | ③ | ③ | ・ウェビングマップ<br>・ワークシート<br>・振り返りシート |
|                          | ④ 働くことの意味について、収入を得るため以外にも、自分自身や他人のためになっていること、地域社会のためになっていること、それらは自己の成長とともに見いだすことができることに気付いている。 | ④ 働くことの意味について、自分たちの考えと実際に働いている人々の考えの類似性から、自分たちの価値観を設定し、見直しをもっている。 | ④ 課題解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、自身の活動を振り返り進めながら次の活動に生かそうとしている。 | ④ | ④ | ④ | ・ウェビングマップ<br>・ワークシート<br>・振り返りシート |

総合的な評価を行うためにも、  
児童生徒の姿となって表れやすい場面  
全ての児童生徒を見取りやすい場面  
その場面を精選する

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 「単元の評価規準」の作成のポイント

### ③「主体的に学習に取り組む態度」

#### ①「自己理解・他者理解」

- ・自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。
- ・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。

#### ②「主体性・協働性」

- ・自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組む。
- ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組む。

#### ③「将来展望・社会参画」

- ・自己の生き方を考え、夢や希望をもち続ける。
- ・実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組む。

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

## 評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

太陽光発電が増えることの是非について、異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ参考にしようとしている。【自己理解・他者理解】

これからのことを考えると火力発電から太陽光発電に切り替えることが絶対によいと思っていた。火力を生み出す化石燃料は限られているし、太陽光発電なら二酸化炭素の排出も気にしなくてよいからだ。でも、山を切り開いてソーラーパネルを置くことで、そこに棲む動物たちの暮らしにも影響があるという反対意見を聞いた時、最近になって、イノシシがまちに何度も現れる理由とつながった。僕は、これまで太陽光発電のよい面しか見ていなかった。だから、次回までに、問題点も調べた上で、自分の考えをはっきりさせたい。

太陽光発電は、環境によいから進めるべきだと思っていた。でも、山を切り開くことで、生き物にとっての生活環境が変わってしまうことも分かった。その意見に対して、〇〇さんが、火力発電の燃料となる資源の90%以上を外国に頼っていると言っていた。だから、ソーラーパネルの設置は必要だというものなるほどと思う。ソーラーパネルのほかにも国内における資源を活用している発電方法を見付けたいと思う。

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

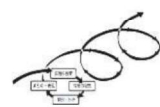
## 総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

### 学習指導要領との関連（小学校学習指導要領 第5章 第3の2(3)）

**探究的な学習過程**においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるように工夫すること。その際、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮すること。

### ICT活用の特性・強味（「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめP13）

- ①多様で多量の情報を収集、整理・分析、まとめ、表現することができ、カスタマイズが容易であること
- ②時間や空間を問わずに音声・画像・データ等を蓄積・送受信でき、時間的・空間的制約を超えること
- ③距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができるという、双方向性を有すること



### 学習の質を高めるポイント

- ①課題の設定・・・グローバルな課題、ローカルな課題、情報の蓄積による個に応じた課題設定が可能
- ②情報の収集・・・多様な情報、多量な情報、最新の情報、加工しやすい情報を、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能
- ③整理・分析・・・デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能
- ④まとめ・表現・・・校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

# ICTの活用

## 教育・学習におけるICT活用の特性・強み

### 探究的な学習過程における活用

|        |                                                                                                                     |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課題の設定  | デジタルデータによる学習課題の具体的なイメージや焦点化等<br>※グローバルな課題、ローカルな課題、情報の蓄積による個に応じた課題の設定が可能となる。                                         |
| 情報の収集  | ウェブブラウザによるインターネット検索等<br>※多様な情報、大量の情報、最新の情報、加工しやすい情報を、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能となる。                              |
| 整理・分析  | 表計算ソフトによるデータ等の整理・分析、グラフの作成、プレゼンテーションソフトを使った図の作成や情報の整理等<br>※デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能となる。 |
| まとめ・表現 | 文書作成ソフトによるレポート、論文等の作成、プレゼンテーションソフトを使った発表等<br>※校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能となる。                    |

「令和6年度小・中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・総合）」

# 主体的・対話的で深い学び の視点による授業改善

## 未来の創り手としての資質・能力

体験と言葉 対話・深い

一人一人の児童が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働しながら**社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手**となることが求められる。  
(平成29年告示の学習指導要領の前文)

児童が生命の有限性や自然の大切さ、主体的に挑戦してみることや**多様な他者と協働することの重要性**などを実感しながら理解することができるよう、**各教科等の特質に応じた体験活動**を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ、体系的・継続的に実施できるよう工夫すること  
(総則の第3の1の(5))

### 生活科

具体的な活動や体験を行うに当たっては、**身近な幼児や高齢者、障害のある児童生徒などの多様な人々と触れ合う**ことができるようにすること  
(内容の取扱いの配慮事項)

### 総合的な学習の時間

探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、**互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度**を養う  
(第1の目標(3)の学びに向かう力、人間性等)

**自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること**  
(内容の取扱いの配慮事項)

人間同士のリアルな関係づくりは社会を形成していく上で不可欠であり、知・徳・体を一体的に育むためには、**教師と子供の関わり合いや子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動、専門家との交流など、様々な場面でリアルな体験**を通じて学ぶことが重要である  
(令和3年答申における「協働的な学び」)

課題の設定（今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開）

### 課題の設定のポイント

- 人、社会、自然に直接関わる体験活動を重視し、学習対象との関わり方や出合わせなどを工夫すること
- 事前に生徒の発達や興味・関心を適切に把握すること
- これまでの生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせるように工夫すること

